中央区立月島第一小学校

月 一 だ よ り

平成２５年５月　NO.382

意欲を引き出す　能力を引き出す

校長　三木　滋

これからの社会を担う子どもたちが、主体的･創造的に生きていくためには、それぞれの子どもが「確かな学力」を身に付けることが重要です。そこで、私は学校経営の基本方針の一つに「学力向上」を掲げ、子どもたち一人一人に確かな学力を身に付けるようにしていくことが学校の責務であると考えています。

学力向上に向けた取組は多様に考えられるでしょうが、その中でも、「子どもの学習意欲を高めること」が、最良の方法であると考えます。子ども自身の学習に対する「やる気」をもたせることが何よりも大切だと考えるのです。

それは、「馬を水辺に連れて行くことはできるが、水を飲ますことはできない」のことわざにもあるように、馬を水辺に連れて行っても、馬自身が水を飲みたいと思わなければ馬に水を飲ませることはできないのです。それと同様に、周りの大人が、「この子には勉強が必要だ」と思ってあれこれ用意しても､その子ども自身が「勉強しよう」「勉強したい」と思わなければ、勉強をさせることはできません。

そうならば、教員は、子どもが「勉強したい」「勉強することは楽しい」と思うようにさせることが必要であり、子どもに「やる気を出させる」ためにいろいろな手立てを講じていかなければなりません。

そこで、本校では学習意欲を高めるための工夫をそれぞれの教員が図るよう努めてまいります。授業における導入の工夫、ＩＣＴを活用した授業、学習カードやワークシートを工夫した授業など子どもたちにとって魅力ある授業の展開や学級･学年での企画等によって学習意欲が高まれば、子どもたちは、自ら進んで水辺に行き、思い思いに水を飲むことでしょう。水辺に行き、水を飲むことを繰り返し行うようになれば、そのことが習慣化され、より効果的な水辺までの行き方や水の飲み方を習得することができるはずです。

月島第一小学校では、子ども一人一人が学習意欲を高め、学習習慣を身に付け、子どものもっている能力を最大限に伸ばすことをめざします。保護者の皆様、地域の皆様にも子どもたちに対して「やる気」が湧く言葉かけ等をよろしくお願いいたします。

５月の生活目標	友達と仲よくすごしましょう

生活指導部より

生活指導主任　遠藤　真理子

私が尊敬するある方の小学生時代のお話です。当時は、給食で残したパンなどは紙に包んで家に持ち帰る習慣がありました。その方は毎日のように給食を残し、パンの中におかずを詰め、ランドセルに入れて持ち帰りました。時にはシチューなども詰めて。当然ランドセルの中はぐちゃぐちゃです。教科書やノートもぬれてしまいます。もし、お子さんがそのようにして帰ってきたら、皆さんならどうしますか？

その方のお母様は我が子のランドセルや学用品を毎日きれいに拭いて、次の日、何事もなかったように持たせたそうです。一言の愚痴も言わずに。その方は、お母様が亡くなった時に初めて、親類からその話を聞いて驚かれたそうです。

厳しく叱ることも時には必要です。ですが、このような暖かい愛情を与えられるのはほんの短い間です。今からでもそのお母様に近づけたら・・・と自壊するこの頃です。